



「県政ながの」諏訪支部長
長野県議会議員
金子ゆかり

寒かった今年の冬も四年ぶりのお神渡りを出現し、ようやく桜の便りの聞こえる季節になりました。想像を絶する大震災から一年、春の陽射しとともに一日も早い復興と日本の元氣回復を期待します。

国会では消費税の増税法案が提出され、年金、医療、介護など社会保障の将来設計、国と地方のあり方をめぐる「大阪維新の会」旋風、原子力発電の頓挫による電力料金の値上げと産業政策、そして自然エネルギー転換などが、クローズアップされています。

長野県でもそれらの課題を共有しながら、二十四年度には、阿部知事が手掛ける初めての総合五カ年計画の策定を控え、関連する各種計画の改訂も重点です。阿部知事の知事としての政治理念、政策、指導力がどのように現れてくるか注視して参ります。

震災の影響、円高、原油高など外的要因による引き続き厳しい経済、雇用情勢や安定しない国の政治動向など、行政環境が不安定なこの時こそ、議会として、議員として、直言を呈していかなければならないと考えています。その為にも、皆様からの率直なご意見、ご提言を大きな耳にお届けいただき、引き続きご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、まだまだ寒さも治まりません時節柄、くれぐれもご自愛の程、ご祈念申しあげます。

長野県議会 2 月定例会 議会報告

本会議では各派代表質問に続き 35 名が一般質問に立ちました。委員会付託を経て 24 度当初予算案、(一般会計 8411 億 8696 万円、特別会計 2434 億 2508 万円、企業特別会計 124 億 2376 万 7 千円)「信州登山案内人条例案」、行政委員の報酬を現行の月額制から勤務実態に応じて支給する日額・月額併用制に改める一部条例改正案などを可決しました。

危機管理建設委員会



■入札 制度の改正では、災害対応をする地域企業への受注機会確保につき十分な検証と検討を要望、緊急輸送路の確保や民間建築物の耐震化の促進、原子力発電の立地県との連携による危機管理などを要望しました。

がん制圧議員連盟

がん対策推進条例(仮称) 制定検討調査会が発足しました。



がん征圧議員連盟総会 3/7



■大阪成人病センターを視察。がん登録 50 年の先進地からいろんな示唆を頂きました。

2 月補正予算

■23 年度の 2 月補正予算案は、県北部を中心として大雪に伴う除雪経費、諏訪児童相談所移転改築事業 1 億 5584 万円、医療施設耐震化臨時特例基金の積み立て(国補正予算関連)を計上したものの、森林整備加速化・林業再生基金 79 億 円の減額を計上(注※)するなど、一般会計 243 億 6332 万 4 千円の減額を承認しました。

(注※: 昨年 11 月の補正予算のうち 136 億 8 千万円を計上した当該基金は国の状況を正確に把握できず、結果として予算を過大に計上し、今回 79 億円の大幅な減額を行うことになったことに関して知事よりお詫びがありました。今後は歳入・歳出の的確な見込みを国と十分に、慎重に予算計上するよう強く要望しました。)

農政林務委員長に就任

長野県農林水産業の質の向上を目指して頑張ります。



24 年度の新しい正副議長が決まりました

決算特別委員会の改革

■より充実した決算審議と結果を次年度予算に反映できるよう、決算特別委員会の設置時期を現行の 9 月から 6 月定例会に前倒すことになりました。

当初予算 諏訪市の関連

- ・県道諏訪辰野線、高島(555m 測量設計)、有賀峠
- ・県道諏訪白樺湖小諸線 ・県道岡谷茅野線(大熊)
- ・天竜川上流(新川)、武井田川、諏訪湖、権現沢川、桑沢二沢、千本木川
- ・急傾斜対策:大熊 ・治山(林務):西山、東山、宮山(県単)
- ・農政:夢の海が完成します など

発行責任者 金子ゆかり

平成 24 年
4 月 6 日
発行

◆一般質問に登壇しました◆

介護人材の確保について

■少子高齢社会が進む中、介護関係施設も増加しているが、介護人材の不足が懸念される。その充足状況や人材育成につき、福祉大学の充実案も含めて質問しました。

A. 長野県全職種の有効求人倍率が約 0.7 倍の就職難のなか、介護関係職種の状況は平成 23 年 12 月集計で 2.05 倍。現在介護関係施設職員は 2 万 4 千人、35%の施設で人材不足がある。10 年後には 5 万人が必要と予測される。新卒高校生の就職も介護福祉施設関係からの求人に対し 55.4%の充足率。

Q. 介護のサービスニーズは、心理専門サポート、依存症カウンセリング、緩和ケア、障害サポート、施設経営など多岐に亘る。福祉大学の介護福祉学科を充実すべきでは。

A. 来年度から管理者研修を加える。(健康福祉部長)→
Q. 医療、看護とならび、介護は人そのものに向き合う崇高な仕事です。介護への理解と仕事の価値の再確認が必要と思うが、有用な人材を育成する意味で教育現場の取り組みは?

A. 待遇、キャリアアップの課題がある。職場体験などを通して、専門性を高め将来に希望がかなうようにしたい。(教育長)

消費者教育について

■振り込め詐欺、悪質商法、多重債務など相談は増えている。また知的財産権侵害など、気づかずに犯罪組織に加担してしまっている現況もみられる。消費者としてのみならず、社会の品格、文化の形成の意味からも消費者教育は重要と考え、質問しました。

A. 消費者相談や被害相談は、インターネットのワンクリック、アダルト利用、未公開株利殖勧誘、投資勧誘など、振り込め詐欺のみならず各年齢層に広がっている。(県警本部長)

A. 全人教育の一貫としてとらえ、教員の研修も充実していきたい。(教育委員長)

A. 子供からお年寄りまで問題解決能力を育て、市町村と協力し、オリエンテーションなど機会をつくりつつ見守り、啓発をしていきたい。(加藤副知事)

「県政ながの」会派活動



■森林づくり県民税の最終年度になりました。増額して継続とした愛媛県に調査に伺いました。

■片倉館より先輩の重要文化財の公衆浴場道後温泉を訪ねました。

■歴史と観光振興についても、愛媛県庁観光局からお話を聞きました。



■自然エネルギー活用で先進的取り組みの高知県梼原町を視察。四国も雪で寒かった～。

■小水力発電は、地元の町立小中学校の電力を 100%カバーしています。

選挙区・定数研究会

■一人区、飛び地、一票の格差、議員総数などの切り口につき、それぞれの論点整理をしたうえで、各会派の意見聴取から議論を始めています。

中小企業の振興、支援について

■10 月に技能五輪が開催されるが、その意図は地域にいかん技能者、技術者を育成する仕組みを定着するにあると思うが、ポスト五輪の計画は?

A. スキルアップ講座など技能育成を継続支援する。(商工部長)

今年「ものづくり産業振興プラン」の改定期となる。成長するアジアの需要を取り込む方法として、アジア進出企業への引き合い情報を集めて、県内企業に照会する「受注情報共同サポート」的な仕組みを取り入れたどうか?と提案しました

諏訪湖の貧酸素対策について

■諏訪湖の次なる課題は貧酸素対策である。貝が激減している。今年度は第 5 次長野県水環境保全総合計画、第 6 期諏訪湖水質保全計画の策定期であるから、生物多様性の維持のためにも、この課題に取り組んでほしい。

A. 貧酸素はアオコに代わる新たな課題として捉えている。浄化対策として検討してきた新たな 4 工法を夏をめどに決定して計画に位置づける予定。遠浅の渚は効果は不明確の現状だが、新しい工法に付随して行うことは可能。(建設部長)

瓦礫の処理について

■宮城 19 年分、岩手 11 年分という瓦礫処理を全国で応援しようという広域処理について、知事は、県内処理を優先的に、国に対して国民が廃棄物処理の基準などを理解できるように説明を尽くすべき、との消極的な姿勢をくずしませんでした。

しかし、東北 2 県(福島は福島県内処理が決まっています)の支援要請にそっぽを向いては、復興支援、絆、という大合唱は虚しく響きます。放射能への不安に対しては、健康や環境に被害をもたらさないか焼却灰にいたるまで基準の監視、指導、情報開示など県としてすべきことをしっかりと果たすことで、瓦礫処理の県内受け入れを応援すべきとの主張をしました。反響は、報道各社のインタビューを受けると同時に、市民からも各種意見が届きました。東北の復興は日本の復活のシナリオの中核です、一日も早い復興を祈ります。これに関連し国へ意見書提出をしました。

意見書を国へ提出しました

- ・国民の祝日「山の日」の制定を求める意見書
- ・農業者個別所得補償制度の農業政策の見直しを求める意見書
- ・若者の雇用対策の充実・強化を求める意見書
- ・父子家庭に対する支援の拡充を求める意見書
- ・東日本大震災からの復興に向けた災害廃棄物の広域処理の推進を求める意見書(議案の提出者は金子ゆかりです)
- ・集团的消費者被害回復に係る訴訟制度の早期創設を求める意見書(請願の紹介議員に連署しました)

こんにちは県議会です<上田市>



■一月三十一日 上田合同庁舎にて開催。広報委員として出席し、議会の概要・しくみ等を説明しました。

■市民からの指摘を受け、金子ゆかりから健康福祉部に対して提言した 災害時における医療ガスなどの供給に関する協定の準備が整い、3 月末 23 日に県と協会の調印式が行われました。

次回の「金子ゆかり県政報告会」は 7 月の予定です。皆さんお誘い合わせてご参加ください。

